

議長 日協理事長 佐 保 實

3、議長挨拶

八階に於ける大正九年の大争議以來苦々の勞働運動なるものは他にその例を見ないところである。飯野同志會が生れて運動を繼續して来たか昭和八年民營移管と共に、日鐵、日協の兩組合が出来た、兩組合は過激なる組合ではなくその運動は國情に副つたものである。産業協力も國情を度外視しては出来ぬ、この精神に於て兩組合は一致し今日合同をするに至つたのである。諸君の御援助に依り議長の責任を完ふしたい。

4、副議長及書記任命（議長一任）

副議長 日鐵玉串 谷口友太郎
書記 日鐵 田中兼人

書記 日協 山田政雄

5、經過報告 日鐵玉串 谷口友太郎

兩組合共同で去る六月自主的安全運動を行つたが行事に對する委員を兩組合より各五名を選出し度々委員會を開いたのであるが、其の席上にて兩組合の根本精神は同じであるから單に安全運動のみでなく共同戦線を張つて行く事が必要であるとの意見があり、これを契機として稍もすれば對立的であつた兩組合が精神的に融和され、去る六月十九日最後の産業安全共同委員會に於てこれを解散するか或は精神的に一致する以上此の除合同してはどうかと言ふ事になつたが双方共この委員會で取扱ふ事は出来ないから各組合機關に諮る事となり其の結果は兩場一致を以て合同に決定した、即日決定の爲各五名の折衝委員を出し數回の折衝を